

ACKG 重点化事業86件以上 トータルフリートを連結

ACKグループは、2017年9月期の重点化プロジェクトの実施方針を明らかにした。前期(16年9月期)に比べ12件増の86件以上を計画しており、技術力の向上と事業

拡大を目指す。

重点化プロジェクトの内訳は、インフラ保全・運営管理が20件、事業経営が16件、地域活性化と交通(高度化・総合化)が各12件、防災が10件などとなっている。

重点化事業拡大により、17年9月期の売上高は、海外が前期比0・4%増の129億円、国内公共が0・1%増の221億5000万円、国内民間が0・6%増の79億5000万円と設定した。人材の確保・育成では、毎年100人規模の社員増加を継続する。中期経営計画ACKG2013強化の最終年度である2019年9月期には、社員数2500

人、このうち技術士数990人を目指す。

一方、計画達成に向けて、トータルフリートサービス(東京都渋谷区、大西康弘社長)を15年10月1日付で新規連結会社に加えた。同社はドライバーコーダーを活用した交通リスクアセスメントサービスなどの業務を行っている。